

2015年12月 定期報告と次月度以降の活動予定

活動日誌

12月	1日	日	小山市介護予防体制整備研究会
	2日	日	MCA 無線訓練
	3日	日	栃木県食の安全セミナー(食品添加物について・県と共催)、福祉事業団体忘年会
	4日	日	栃木県議会自民党会派との懇談会
	5・6日	日	eco テック&ライフとちぎ 2015
	7日	日	食と農をつなげる会
	8日	日	理事会
	9日	日	栃木県元気な森づくり県民会議
	14日	日	第2回理事・幹部職員定期学習会
	16日	日	とちぎ消費者カレッジ國學院栃木短期大学
	17日	日	食の安全ネットワーク全体会
	19日	日	いわき四倉お茶会
	22日	日	栃木県適格消費者団体設立準備会
	24日	日	小山市総合計画策定懇談会
	25日	日	「平成27年関東・東北豪雨被害への募金(日生協集約)」贈呈式、栃木県
1月	4日	日	宇都宮市・小山市賀詞交歓会
	7日	日	県民生活部、保健福祉部訪問
	5日	日	連合栃木新春のつどい
	12日	日	栃木県議会民主党会派との懇談会
	14日	日	第3回理事・幹部職員定期学習会
	15日	日	常務理事会、財政検討委員会、賀詞交歓会
	18日	日	栃木県子どもエコクラブ審査会
	19日	日	消費者ネットワーク幹事会
	21日	日	栃木県議会公明党会派との懇談会、食の安全ネットワーク世話人会
	26日	日	栃木県とちぎ食の安全安心推進会議
	27日	日	エコ農業推進シンポジウム宇都宮市長賀詞交歓会
	28日	日	とちぎ消費者カレッジ栃木県農業大学校
	29日	日	宇都宮市食品安全懇談会
30日	日	いわき四倉お茶会	
2月	1日	日	消費生活安定対策審議会
	2日	日	消費者ネットワーク幹事会
	3日	日	全国漁業連合協同組合、青年女性交流大会審査会
	4日	日	協同組合連絡会
	5日	日	農政審議会
	9日	日	理事会
	13・14日	日	適格消費者団体連絡協議会(埼玉)
	15日	日	第4回理事・幹部職員定期学習会
	16日	日	下野新聞「下野ふるさと大賞」審査会
22日	日	宇都宮市食品安全懇談会	

【12月の振り返り】

◇行政関係

・懇談会・審議会への参加

24日 小山市総合計画策定懇話会(竹内会長出席)

・その他

1日 小山市介護予防体制整備研究会(江波戸理事出席)

9日 栃木県元気な森づくり県民会議(大島出席)

◇ネットワーク活動

3日 栃木県食の安全セミナー 小山市

16日 とちぎ消費者カレッジ國學院大學栃木短期大学

17日 食の安全ネットワーク全体会パネルディスカッション

◇学習会

14日 第2回理事・幹部職員定期学習会

◇被災地支援

19日 いわき四倉ボランティアお茶会

25日 関東・東北豪雨災害への募金贈呈式

◇その他

4日 栃木県議会自民党会派との懇談会

5.6日 eco テック&ライフとちぎ 2015

7日 食と農をつなげる会

22日 栃木県適格消費者団体設立準備会

以上

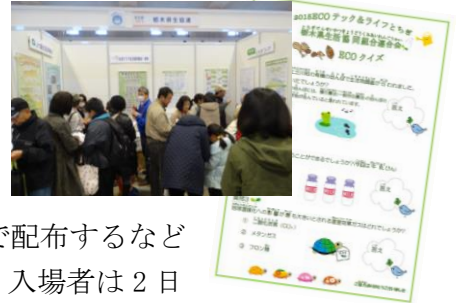
県連活動


1. 機関運営

- 12月8日(月)、2015年度第4回定例理事会を開催しました。

2. 暮らし部会

- 12月5日(土)、6日(日)、ECOテック&ライフ2015 に出展しました(スタッフのべ63名)
 今年度は、地域3生協がそれぞれ行っている環境の取り組み等のパネル展示と、エコクイズの出題に加え、エコ・ラリーのチェックポイントの依頼を受け、回答者にコアノンロール1巻とポイントシールをお渡ししました。2日目の昼頃には420個用意したコアノンロール、クイズ用紙ともに終了したため、生活クラブ生協が展示していたリサイクルのごみ袋まで配布するなど盛況でした。生協連のクイズには510名以上の方が参加され、入場者は2日間で約3,200名(主催者発表、子ども含)となりました。



展 示 内 容 と テ ー マ	<p>生活クラブ生協●【Rびん】びんにある  マークが目印です。 家庭からでるごみの容積の約60%が容器や包材によるごみといわれています。なるべくごみを出さず環境負荷を減らすために、リサイクル容器(使い捨て容器)からリユース容器(回収して再利用可能な容器)を優先して取り組んでいます。</p>
	<p>よつ葉生協●テーマ 田んぼの生き物を守ろう 「自然環境を守って、人や虫の命を守る有機農業を勤めましょう」 よつ葉生協では、毎年、多くの組合員さんたちが参加をして、有機の田んぼの生き物調査を行っています。有機農業の田んぼには、慣行農法の田んぼの10倍の生き物が生息していると報告があり、多くの生き物が住める環境をつくっていくことは、地球を守ることになります。よつ葉生協では、エコな農業を行う農家さんと一緒に取り組んでいます。</p>
	<p>とちぎコープ●とちぎコープの環境の取り組みと、環境に関するアンケートの結果報告 家庭部門からのCO₂排出量は1990年度比で59%増加し、暮らしの中から考えていかなければならないことが多くあることから、啓発活動の一環として組合員を対象にアンケート(①普段の暮らしの中で気をつけていること ②これからやろうと思っていること ③組合員さんからの一言 等)を実施。結果を展示し、来場者とともに環境について考えました。</p>

- 12月7日(月)、2015年度食と農をつなげる会を開催しました。

JA中央会、女性会の皆さん29名と生協から36名、計65名が参加しました。



始めに「NPO 法人民間稲作研究所 齋藤一治氏」より、『食と農業』の昔・今そして明日」をテーマにご講演いただき、その後分散会で「講演を聞いて思ったこと、感じたこと」等を交流し発表しました。また、JA女性会の方が手作りの「みそ、こんにゃく、粒あん」を用意して市販品との食べ比べを行い、手作り品の良さを再確認しました。

- ・ 農業の持つ多面的機能の大切さを再認識した。農業は年代や社会背景によって変化している。
- ・ キッチンカー戦略等、アメリカの思惑(戦略)通りに日本人は小麦をたくさん食べるようになった。農業政策でも、アメリカの言いなりになってしまった日本を感じた。
- ・ お米を食べる事＝米を守る事につながるのだから米を食べさせたいが、コメ農家も価格が下がったり大変な状況であるのも事実
- ・ TPPもあり、価格だけで選ぶ人が増えることのないよう、私たちが農業のことを伝えていくことが必要。お金を払ってでも残したいものを応援していきたい。
- ・ 大きな力に対しては、皆が手を組んで行動しないとイケない。声を上げていく。継続は力なり。 <分散会の記録より>

3. 県連学習会

- 12月14日、2015年度第2回理事・幹部職員定期学習会を開催しました。
演題:家で天寿を全うする方法～地域包括ケア時代の在宅医療～
講師:医療法人アスミス理事長:太田秀樹氏
高齢化社会を迎え、在宅医療の必要性が高まる中、自宅で最後まで安心して暮らせるよう、長年に渡る太田先生の先進的な取り組みと在宅医療の現状、今後の方向性等お話しいただきました。内容だけでなく先生の生き方やお人柄についても感銘の声がありました。午後は、そのお話しを受けて分散会交流をしました。



- ・「積極的治療を諦めた人が、安らかな終末を迎えるために在宅医療を選択するというイメージを持っていましたが、間違っているとわかりました。在宅でも、病院と同じレベルの治療を受けられるのなら、どこで治療を受けるのかは本人と家族の意思次第です。元気なうちに考えておかななくては…」
 - ・「一人一人がどう生き抜いていくか、ということ考えた時に、その周りにいる家族や社会がとても大きな存在であることを強く感じました」
 - ・「私たちが意識改革をしていかなければならないと感じました」
 - ・「太田先生の人を大切に想う医療のお話はわかりやすく、心うたれました。」
- 〈参加者アンケートより〉

4. 行政関係

〈懇談会・審議会への参加〉

- 12月4日(金)、栃木県議会自民党会派と懇談しました。
会派からは3名、生協連からは会長理事等11名が参加し、自民党栃木県支部連合会会長茂木敏充様に宛て、要望書を提出しました。
内容は、県内の食品安全の確保と農業者支援について、消費者行政活性化について、福祉政策の充実や地域包括ケアづくりの推進について等です。また特に、関東東北豪雨水害の際の避難所等の状況では、病人や高齢者も多く、体育館等の仮設避難所での長期の生活は負担が大きいことから、今後、災害時に被災者になるべく日常に近い暮らしができるよう、災害対策の施策等を通して改善が進むよう要望しました。
- 12月24日(木)小山市総合計画策定懇談会に会長理事が参加しました。
- 12月9日(水)「栃木県元気な森づくり県民会議」に参加しました。

〈その他〉

- 12月3日(木)福祉事業団体忘年会に会長理事が参加しました。
- 12月1日(火)第3回目となる小山市介護予防体制整備研究会に理事が参加しました。
28年度より新たな地域福祉の仕組みを進めるため、小山市から国の方針の説明と、行政、福祉事業者、NPO法人、ボランティア団体等で、現況と今後について話し合いました。特に、今後地域で重要になってくる福祉コーディネーターの概念と役割、範囲(地理的&業務内容)等について、様々な意見が交わされました。

5. その他

- 12月22日(火)適格消費者団体研究会は、今回より名称を「栃木県適格消費者団体設立準備会」として開催しました。
栃木県での適格消費者団体設立に向け、地域の方々に向けて事業内容の啓発等を行うことと、呼びかけ人を募る事を目的に、フォーラム(名称未定)を開催することを確認しました。開催は2016年4月16日(金)13:30～16:00 栃木県弁護士会館にて、消費者庁の方や、県外の適格消費者団体の方からお話しいただくこと等を予定しています。
また、開催に向けて、地域の団体や個人へ適格消費者団体についての学習会や、設立趣旨の説明等を行うための学習会を進めることとしました。講師としては、会を構成する弁護士の方にご足労願うことになっています。
- 11月5日(木)、27日(金)、30日(月)、とちぎコープと共催で上映したドキュメンタリー映画「シロウオ～原発立地を断念させた町～」では、218名の参加があり、関心を持つことが大事との声をいただきました。

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

- 12月3日(木)栃木県共催し、平成27年度食品安全セミナーを開催しました。
基調講演「食品添加物の安全対策 ～国における取組について～」
講師：厚生労働省医薬・生活衛生局 生活衛生・食品安全部 基準審査課課長補佐 竹内大輔氏
報告「栃木県食品衛生監視指導の状況について」
講師：栃木県保健福祉部生活衛生課 食品安全推進班 班長 高橋 正典 氏

・食品添加物に関しては、様々な意見があり、使用されていない食品を摂りたいと思っている方は多いと思います。しかし、食品の安全を保つために使用するものもあつたり、天然のものでも安全ではないということを理解しなければならないと思います。そのようなことを理解した上で摂取量を考慮しながら食品を選び摂っていきたいと思います。いたずらに食品添加物を恐れるのではなく、きちんとした情報を得て、自分で判断していくことが大切だと思いました。

・正しい知識がいかに大切か、テレビなどで取り上げられたことを「うのみ」にして騒いではいけないのですね。

・今まで添加物への関心が薄かったので、今回このセミナーに参加することで、関心が高まったと共に、国や県での取組を知ることが出来て良かったです。また、県での指導状況や監視などもわかり、安心してスーパーで買い物ができると思いました。濃い内容だったと思います。ありがとうございました。 <参加者アンケートより>

- 12月17日(木)食の安全ネットワーク全体会 2015年度 第4回 全体会を開催しました。

参加者は、関係行政、関係団体、生協組合員・役職員等約50名。“農業者と食品事業者が取り組む食の安全と安心”をテーマにパネルディスカッションを行いました。

□コーディネーター 宇都宮大学名誉教授 宇田 靖氏

□パネリスト

・JA栃木中央会 農業対策部 部長 生澤良一 氏

・日本生協連 執行役員 総合品質保証担当 内堀伸健 氏

・フタバ食品株式会社 常務取締役 品質管理部部長 齋藤貞大 氏

- ・人間が生きていく上で最も重要ともいえる食に対して、その安全と安心ということに関する内容を生産者である農業の立場から、そして、生産加工に関わる生協とフタバ食品からの具体的な取り組みを聞くことができ、参考になりました。また、県や市などの行政としての監視・指導の体制もよく分かりました。ありがとうございました。
- ・JAグループ、CO-OP、フタバ食品さんのそれぞれの食品安全・安心対策の取組みについて聞いてとても参考になりました。加工品については、原材料が見えない分不安もありました。品質を守るための管理や検査、安全確保は消費者の安心につながります。
- ・それぞれの企業などで、商品・食品の検査をきちんとしていることが分かりました。また、働いている方の教育もすすめていることが分かり、安心できました。
- ・今後、TPPがすすむ中、国・県・市・企業、そして消費者もきちんと考えていかなければならないと思いました。
- ・農家・従業員の教育がポイントのように思います。TPPでどのように変化していくのか、その中でも変えてはいけない事は何か。見極めながら進んでいきたい。 <参加者アンケートより>

全体会の後、食の安全ネットワークのメンバーに、栃木県生活衛生課の高橋 正典氏より、「とちぎ食の安全・安心・信頼性の確保に関する基本計画/3期計画」のご報告がありました。

2. とちぎ消費者ネットワーク

- 12月16日(水)とちぎ消費者カレッジを國學院栃木短期大学にて開催しました。

「ネットトラブルと契約・20歳の契約」
～通信に関連する契約とトラブル 20歳の契約とお金～

NPO 法人とちぎ消費生活サポートネット

鷲見 恵美子(すみ えみこ) 氏

(栃木市消費生活センター相談員)



参加者 約160人

- ・奨学金の返済などで悩んでも、一人で抱え込まなくても、相談して解決のお手伝いをしてくれるのだと知りました。
- ・知らないことがたくさんあって、こんなにも身近に危険が潜んでいたのだと思いました。自分のことは自分で守らなければいけない年齢になるので気を付けたいです。
- ・今日は本当にとっても参考になった。ネットなどでトラブルがあったときは、消費生活センターに相談することを忘れず、家に帰ったら家族に話して共有しようと思います。
- ・分かりやすい説明で非常にためになりました。消費生活センターが相談しやすい場所だと知れてよかった。
- ・SNSについての講義は、特に自分にとって一番身近な内容だったので、これからの生活に役立てたいと思います。
- ・今まで知らなかった知識をたくさん学ぶことができました。SNSのこわさを改めて感じました。 <アンケートより>

震災支援活動

1. 東日本大震災、福島第一原事故避難者支援

● 第42回いわき市四倉仮設住宅お茶会報告



開催日時：2015年12月19日(土) 午前10時:30~12時:30(集合8:00 解散16:00)

□開催場所：いわき市四倉工業団地内 被災者仮設住宅 交流室

□参加者：7名 スタッフ10名 合計17名

□メニュー：パエリア、鯛めし、クリームシチュー、ミネストローネ、茄子の煮物、寿司酢のピクルス、こんにゃくと大根の味噌煮、アップルパイ、ゆずの黄金煮等

□手芸：枳を花器にし、生花と手作りピックを活けた正月飾り作り

スタッフ感想

- ① 参加者のK0さんが木を切って、私たちのためにクリスマスツリーを作ってくれました。栃木には海がないからと海のもの(牡蠣殻、ヒトデ、昆布等)にひもを通して、オーナメントも手作りです。ひろので撮れたみかんもつるしてありました。この準備に何日もかけてくれたのだと思うと、感謝の気持ちでいっぱいになりました。ありがとうございます。
- ② 栃木県の方は皆いい人です。また来月もお願いします。良いお年を(参加者の方の言葉)
- ③ いつもの参加者KMさんが、活け花に凄く芸術センス、才能を発揮して、ものすごく楽しい活け花でした。こちらもつられて大笑いしました。楽しく過ごしていただけてよかったです。
- ④ 仮設住宅にお声かけをしましたが、人が減っていますね。前回よりも、その前々回よりもまた少なくなっています。
- ⑤ 今日的人数は少なかったけれど、いつもより賑やかだったように感じました。皆さん、良いお正月が迎えられれば良いと思います。
- ⑥ 久々に見えた方がいらっしゃいました。自然に前回も会ったかのようにおしゃべりができたので、私達も互いに仲良くなれたのかなと感じました。活け花もおしゃべりも滑らかで、今日も良い日でした。皆さんの笑顔に元気を頂きました。
- ⑦ いつものメンバーがいなく、いつも会える人と会えないというのは寂しいので、ここにいる方たちもそういう思いなのかなと感じました。もうお帰りになっている方も結構いらっしゃいますね。
- ⑧ 昨日、仮設住宅の今後についての説明会があり、皆さん出かけられたそうですが、説明をする議員の方が「仮設とはぜんぜん関係ない話ばかりする」ので頭にきてしまったそうです。「悪いのはあんな議員を選んだ人だけ」と言っていました、「せっかく聞きたいことがあって出かけているのに、話にならない」と怒っていらっしゃいました。
- ⑨ 参加者のHさん、1月1日がお誕生日で、米寿をお迎えになるそうです。非常に頭もしっかりしてお元気で、1人で生きていく心得をお持ちで、本当に立派な方ですね。(スタッフ皆で、来月Hさんにささやかなお誕生日プレゼントをすることになりました)
- ⑩ 男性陣は、いわきの視察としてマリンター方面へ出かけました。次回は2016年1月30日(土)です。

● 12月4日(金)、被災地の情報発信

震災後、みやぎ生協さんが発信し続けている「3.11を忘れない～被災地のいま～」みやぎ生協から被災地・宮城のいまをお伝えします」として、「第28回 地域再生に向けて(3)～漁業者の経営安定のため販売強化に取り組む～」をアップしました。

→南三陸町志津川戸倉では11月後半からカキの出荷が始まった。

「浜に活気が戻ってきた」と話す「津の宮カキ共同処理場」



2. 関東・東北豪雨災害支援



● 12月25日(金)、関東・東北豪雨への募金を栃木県に贈呈しました。

日生協が窓口となり、全国からお寄せいただいた募金の金額は、31,923,847円となりました